

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



在日朝鮮人の 現状を聞く

隣保館職員研修会

西部地区隣保館の職員研修会が、2月27日に、米子市中央隣保館で開かれました。

研修の内容は、米子市在住の任国主さん（在日朝鮮人総連合会鳥取県本部専任）による、「在日朝鮮人の過去と現在」と題しての講演でした。

任さんは朝鮮人四世で、和歌山県で生まれ、米子市に来ることになったいきさつや、大阪の朝鮮学校に通うようになって、それまで日本びいきだった考え方が朝鮮へと傾いていったこと、また、半年間北朝鮮に滞在したことなど、自分の体験から得たことを話しました。また、「生まれてから32年間日本で暮らしているが、日本の良さをもっと朝鮮の人にも知ってもらい、学んでもらいたい」と語っていました。

年に1回は認知症検査を受けましょう 健康教室「認知症予防」

2月17日、認知症予防についての健康教室が、老人憩の家で行われました。

今回は、町包括支援センター職員による、認知症予防についての話と、簡単な認知症の検査を行いました。

最初に、日常生活などについて、簡単なアンケートに記入したあと、パソコンのタッチパネルで認知症の検査をしました。

次に、支援センターの山形

所長が、認知症について、その症状や原因、予防方法などを話しました。

「認知症には6～7年の潜伏期間があるので、年に1回くらいは検査を受けたほうが良い」など、誰にでも発症や介護をする立場になる可能性があるだけに、参加者は熱心に聞いていました。

薬の開発研究も進んでいるようですが、生活習慣を今一度見直して予防に心がけ、お

一年間の思い出や抱負を発表 榎の実学習会で閉講式

2月19日、下榎集会所で、榎の実学習会の2008年度閉講式を行いました。

式では、山本教育長と、小中学校の校長先生から、子どもたちに労いと励ましがありました。

子どもたちは、この一年を振り返って、それぞれの思いや来年度に向けての抱負を発表しました。

小学校6年生、中学校3年生は、これまでの思い出や感謝の言葉、後輩たちへのメッセージと、新たな旅立ちに向



子どもたちを激励する山本教育長

けての希望などを作文にして発表しました。最後に隣保館長から、あいさつと、一年間休まず学習会に出席した児童、生徒に表彰状が贈られました。

かしいと思つたら、まず、かかりつけのお医者さんに相談しましょう。



画面に触れるだけで検査ができます

4月の学習講座予定
■編み物 4月11日(土) 午後1時～
老人憩の家 (講師：安達利子さん)
■生け花(草月流) 4月21日(火) 午後7時30分～
下榎集会所 (講師：生田清子さん)
(花代約1500円が必要です)
▼日程など変更になることがあります。詳しくは下榎隣保館へ▼どの講座も2時間の予定です。町民どなたでも参加できますので、お気軽に参加ください

